

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業)
分担研究報告書

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

研究分担者 池川志郎 所属機関 理化学研究所 生命医科学研究センター
役職 チームリーダー

研究要旨 胸椎後縦靱帯骨化症の疾患感受性遺伝子の同定のために、班員と協力して患者サンプルを収集し、全ゲノム相関解析（GWAS: Genome-wide association study）を行う。

A. 研究目的

胸椎の後縦靱帯骨化症の疾患感受性遺伝子(susceptibility gene)を同定する。

B. 研究方法

班員と協力して患者サンプルを収集し、全ゲノム相関解析（GWAS: Genome-wide association study）を行う。相関解析の対照群としては、BioBank Japanに登録されている一般人のGWASデータを用いる。

（倫理面への配慮）

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成25年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）、3省庁のガイドライン等の法令に従う。

C. 研究結果

班員と協力して患者サンプルを収集した。80サンプルが関連臨床情報とともに、集まった。対照群の、BioBank Japanに登録されている一般人のGWASデータを用いる。

D. 考察

これまでの疫学的研究は、胸椎の後縦靱帯骨化症は、頸椎の後縦靱帯骨化症とは異なる疾患感受性遺伝子を持つと考えられる。

E. 結論

GWASを行うために、班員と協力して300サンプルを初期目標に患者サンプルを収集する。層別化解析のために、疾患関連臨床情報とともに集める。

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし